

北中かわら版

「北中かわら版」は地域医療連携のための広報誌です

北陸中央病院理念

「人間愛に基づいた医療を通じて
社会に貢献します。」

基本方針

1. 安全には細心の注意を払い、安心の医療に努めます。
2. 心のふれ合いを大切にし、人権を尊重します。
3. 情熱と生き甲斐をもち、常に前進を図ります。
4. 小矢部市の中核病院として急性期と地域医療の共存を果たします。
5. 公立学校共済組合員や地域の人々の健康管理事業に力を注ぎます。
6. 健全な経営に努めます。

● 発行は、2, 3, 5, 6, 8, 9, 11, 12月です。「あいの風ほぐりく」が発行される月はお休みをいただきます。

● 次回は平成30年6月発行を予定しています。

地域医療連携センターよりご挨拶

～ 日頃より大切な患者さんをご紹介いただき、
誠にありがとうございます ～



後列左より 渡辺看護師、高山看護師、前田主任MSW、中島看護師、竹島係員
前列左より 小泉副センター長（新）、藤堂センター長、桐MSW（新）

藤堂センター長率いる地域医療連携センターでは、前副センター長・渡辺副看護部長の退職に伴い、後任として小泉（看護師長）が引き継ぐことになりました。でも安心してください、渡辺看護師は4月からも非常勤ですが、頼れるベテラン看護師として当センターに再着任しています。

小泉はケアマネジャーとして在宅介護に携わっていたこともあり、これから当センターの一員として、病診連携や退院支援に積極的に携わっていきたいと思います。

また5月からは桐社会福祉士（MSW）が新メンバーとして加わりました。前の職場でも相談業務や退院支援の経験がある頼もしいスタッフです。前田主任社会福祉士との2名のMSW体制となり、これまで以上に幅広い社会資源の活用を視野に、患者さんにとってより適切な介入・支援につなげていきたいと思っています。

地域医療連携センターが患者さん・ご家族、また医療・介護関係の方々など誰もが気軽に相談できるよう、スタッフ一同笑顔で心がけ対応させていただきます。

患者さんが安心して生活できるよう、地域のかかりつけ医の先生方とこれまで以上に連携を強化し、地域包括ケアシステムの一役を担うよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

（副センター長：小泉万里子 記）



コブシ：モクレン科
モクレン属の落葉広
葉樹の高木。
場所：妙高高原

地域医療連携紹介実績（月平均件数）



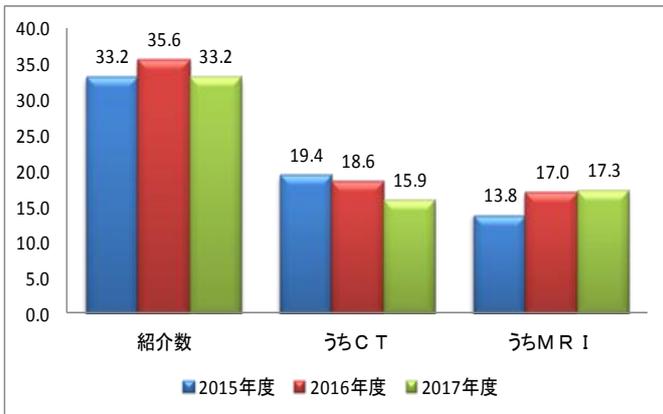
2017年度の延べ紹介患者数は、2104件
市内：1450件、市外：654件でした。

そのうち入院された患者数は、312件
市内：211件、市外：101件でした。

たくさんのご紹介ありがとうございました。

今後ともよろしくお願ひいたします。

放射線科紹介検査実績（月平均件数）



2017年度の紹介検査件数は、398件
CT 191件（2016年度－32件）
MRI 207件（2016年度＋3件）

CT装置は2016年9月に新しくなり、より低被ばくで、より高画質な画像をご提供出来るようになってきました。フィルムからCDへの画像提供にしていいただければその効果をより実感していただけたと思います。

なお、フィルム出力装置の老朽化により、万一故障があった場合には修理も困難な状況にあります。この場合、CDでの画像提供となりますのでご理解くださいますようお願いいたします。

新しく導入した装置のご紹介

骨密度測定装置



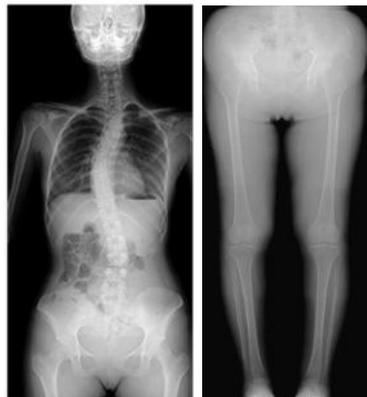
2018年3月に骨密度測定装置と多機能X線TV装置が入りました。

骨密度測定装置は dual-energy Xray absorptionmetry (DXA) 法による腰椎と股関節の骨密度測定が出来ます。腰椎の骨質評価の指標として「TBS (Trabecular Bone Score) 値」を同時に算出することが出来ます。また、体組成分析測定も行うことができます。最近では簡単に測れるバイオインピーダンス法 (BIA法) の装置が普及していますが、BIA法では食事や入浴による体水分・体温などの変化で測定値が変動します。DXA法による体組成測定ではそのような測定誤差が生じにくく測定精度がとても高くなっています。

多機能X線TV装置



長尺撮影



従来の撮影法に加えスロットモードを搭載した長尺撮影が可能です。「ゲイン補正」と「ブレンディング補正」技術を取り入れることで、画像接合部の画質が向上しています。全脊柱や下肢全長撮影ができます。

断層撮影



金属アーチファクトを低減した断層撮影ができます。

簡易懸濁法のご紹介

高齢や様々な疾患による嚥下機能低下や胃瘻・経鼻胃管からの投与により、錠剤、カプセル剤の服用が不可能な方がいらっしゃいます。このような場合、錠剤・カプセル剤を粉砕して投与する方法がありますが、光や吸湿により変質しやすくなったり、粉砕、分包の際にロスが生じたり、投与する際に投与者が薬剤を吸い込んだりといった問題があります。これらの問題点を解決する方法として簡易懸濁法があります。遅ればせながら、本院でも1部の病棟で導入を開始しましたので、紹介します。

実施方法



1. 懸濁ボトルのキャップを開け1回分の薬剤を入れます。
2. 約55℃の温湯約20mLを懸濁ボトルに入れます。
3. よくふって（10回程度）、10分間以上放置。経管チューブに接続する前に、溶けたことを確認してください。
4. チューブに接続して、懸濁ボトルを握って投与します。この時に、逆流しないようにします。
5. 経管チューブから懸濁ボトルを抜きます。
6. 投与後、水20～30mLを懸濁ボトルに入れ、再度残薬を流してください。

【簡易懸濁法における条件】

簡易懸濁法に適さない薬剤や条件付きで可能な薬剤については、以下の通りです。

徐放性・腸溶性等の理由で簡易懸濁法に適さない薬

徐放性：ニフェジピンCR錠10mg/20mg、イソコロナールRカプセル20mg、ムコソレートLカプセル45mg、スローケー錠600mg等

腸溶性：バイアスピリン錠100mg、ラベプラゾールN a錠10mg、ペンタサ錠500mg等

体内動態が変化するため、不適

ブラザキサカプセル75mg/110mg

乳棒などで叩いて破壊すれば投与可能な薬（細かく粉砕する必要はありません）

アリナミンF錠25mg、クロピドグレル錠25mg/75mg、ワソラン錠40mg等

8Frでは通過しないが太いチューブならば可能な薬

エブランチルカプセル30mg、フェキサフェナジン塩酸塩錠60mg等

50℃以下の温湯で懸濁する薬（マクロゴール含有薬剤は温度が高いと凝固するため）

アゾセミド錠60mg、アトルバスタチン錠10mg、アマンタジン塩酸塩錠50mg、イグザレルト錠10mg/15mg、イーケプラ錠500mg、エクセグラン錠100mg、エチゾラム錠0.5mg/1mg、エピナスチン塩酸塩錠20mg、カルベジローラ錠2.5mg/10mg、クエチアピン錠25mg、ジャヌビア錠50mg、タケキャブ錠10mg/20mg、トラベルミン配合錠、 ترامセト配合錠、塩酸プロピペリン錠10mg、フェブリク錠10mg/20mg、ベシケアOD錠5mg、ベニジピン塩酸塩錠4mg、ベラプロストN a錠20μg、レバミピドOD錠100mg、ランソプラゾールOD錠15mg等

アルカリに不安定なため単独で投与する薬

アレロックOD錠5mg、ウブレチド錠5mg、カモスタットメシル酸塩錠100mg、ドパコール配合錠100mg、ドブスカプセル100mg等

配合変化の可能性のため単独で投与する薬

セフジニルカプセル100mg、ミノマイシカプセル100mg、レボフロキサシン錠250mg

北中かわら版

発行日：平成30年5月14日

編集：広報委員会


 公立学校共済組合
 北陸中央病院

〒932-8503
 富山県小矢部市野寺123

電話 0766(67)1150
 FAX 0766(68)2716

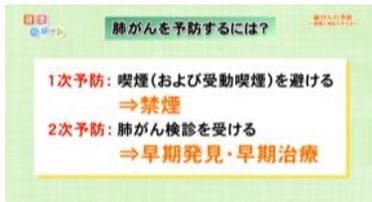
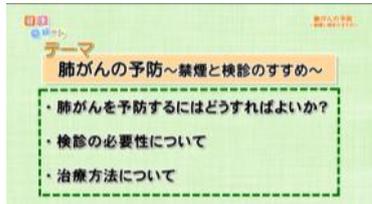
ご案内

小矢部市ケーブルテレビで4月より『健康サポート』番組が始まりました。第1回は4月23日(月)～4月29日(日)まで放送された清水病院長の「肺がんの予防～禁煙と検診のすすめ～」でした。見逃された方やまだ見ていない方のために北陸中央病院のホームページからYouTubeの動画をご覧ください。

おやベケーブルテレビ「健康サポート」番組年間スケジュール

回	放送	担当	出演者	テーマ
1	4月23日(月) ～4月29日(日)	病院長	清水 淳三	肺がんの予防 ～禁煙と検診のすすめ～
2	5月28日(月) ～6月3日(日)	小児科医長	野上 勝司	「こどものこんなときどうしたらいい？」
3	6月25日(月) ～7月1日(日)	リハビリ技術科長	橋場 貴史	膝の痛み対応
4	7月23日(月) ～7月29日(日)	小矢部大家病院長	渡辺 多恵	お酒と上手に付き合う
5	8月27日(月) ～9月2日(日)	歯科口腔外科部長	式守 道夫	よく噛んで健康長寿
6	9月24日(月) ～9月30日(日)	婦人科部長	井浦 俊彦	子宮頸癌について
7	10月22日(月) ～10月28日(日)	薬剤科部長	守内 匡	お薬は正しく使いましょう
8	11月26日(月) ～12月2日(日)	青木内科医院	青木 洋文	動悸、息切れについて
9	12月24日(月) ～12月30日(日)	耳鼻咽喉科部長	丸山 元祥	アレルギー性鼻炎に対する 舌下免疫療法について
10	1月28日(月) ～2月3日(日)	医務局長	武藤 寿生	慢性腎臓病について
11	2月25日(月) ～年3月3日(日)	栄養管理科長	居村 久子	減塩の仕方について
12	3月25日(月) ～3月31日(日)	医師会		
13	4月22日(月) ～4月28日(日)	副院長	池淵 公博	腰部脊柱管狭窄症について

第1回放送内容の一部です



QRコードでも
検索出来ます。